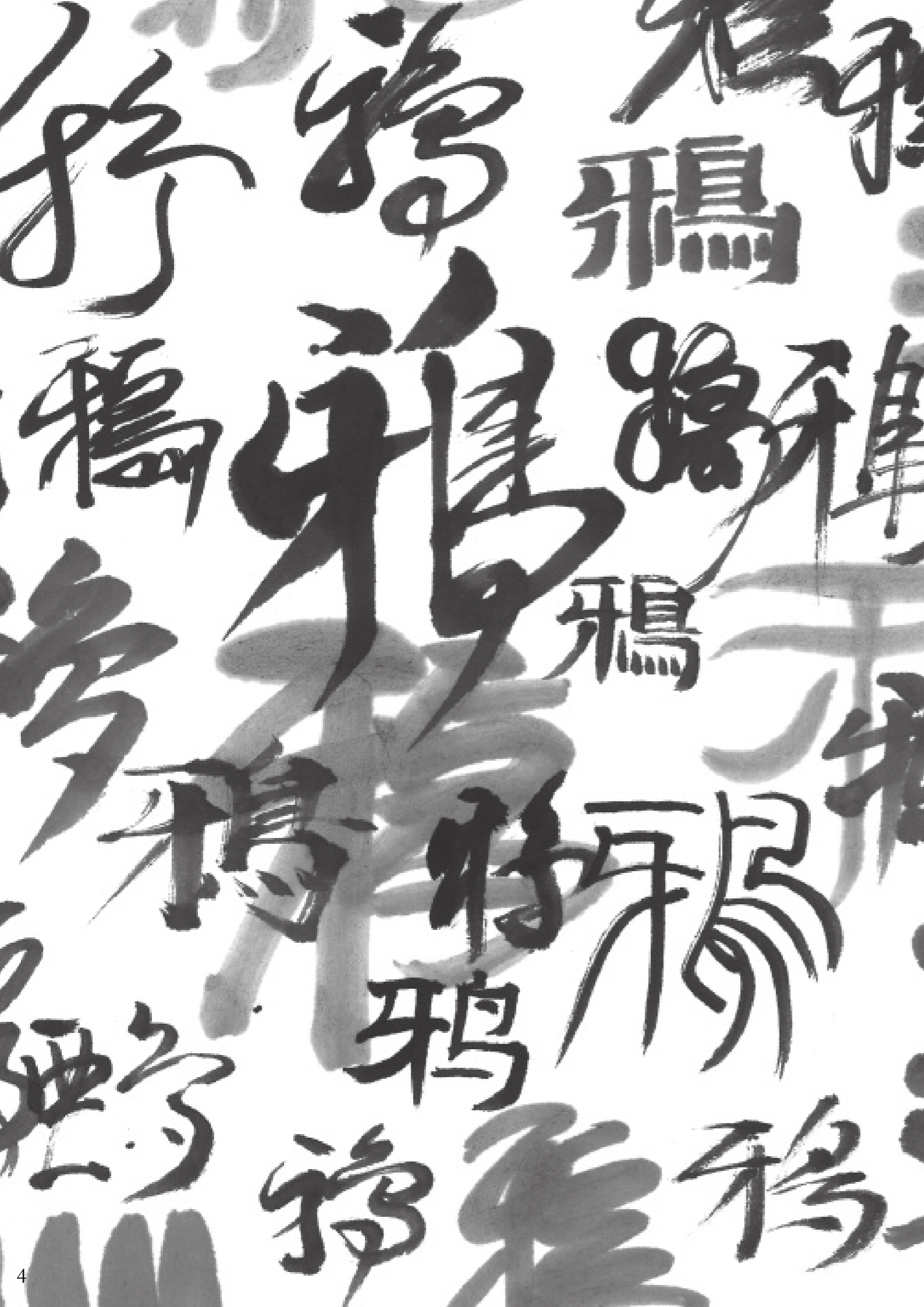
The background features a soft-focus landscape of rolling hills in shades of green and grey. A large, semi-transparent grey circle is centered on the page, serving as a backdrop for the title text.

水墨·創作

目次

不羨仙	墨跡	人間の壺	カラス
56	40	26	04



鴉
crow

「鴉」では水墨を主な素材として、作品の中の自由に対する検討を表現しており、黒と白はカラスの孤独と自由がないことを表しています。創作過程の中で、窓の外の花の木が開花しているのを見て、桜の花びらを使って絵を描くという考えが生まれました。桜の花が瞬く間に過ぎ去っていく時期は、作品「鴉」の中の自由な一瞬とともに、画面の肌理や階層を豊かにさせました。

カラスについて調査

カラスは利口な鳥といわれ、また人間の居住地の近くに生息するため、鳥類のなかでもとくに人間とのかかわりが深い。古くから世界各地の俗信や神話などに頻繁に登場するほか、地域によっては信仰の対象ともなっている。

たとえば、アメリカ北西海岸の先住民やシベリアの諸民族の神話では、大カラスはさまざまな役割で登場し、太陽や月、星、湖や川、あるいは人間の創造者や人々の暮らしに欠かせない火や酒をもたらし、文化や英雄として活躍しています。太古から人間の間でカラスは、主神や祖先として崇拝されていた背景があります。



(www.advan-group.co.jp)



(www.advan-group.co.jp)

中国ではカラスは災害の象徴と呼ばれる事があります。しかし、来日してみると、日本人とカラスの関係はとても奥深いものだと気づきました。

カラスは日本では国鳥として知られており、街の中に居るカラスの生態行動は制限されていません。そこで興味が芽生え、カラスのイメージを使い、私が考える自由への思いを伝えたいと思いました。そして、カラスのイメージ自体が、私が研究したい水墨画と適合しています。



カラスはまだ目が昇りきらない早朝から活動します。夜明けより約30分前にねぐらを飛び立ち、採食しに出かけます。食べ物をあさって満腹になると、昼間は休息したり、遊んだり、水浴びをしたりして過ごします。

都会のハシブトガラスは毎日どのくらいの距離を移動しているのでしょうか。最近の調査の結果から、なわばりをもたないハシブトガラスの若鳥だと、ねぐらから10km程度移動することが分かっています。朝ねぐらから飛び立つと、この行動圏の中をえさを探して巡回しながら移動していると考えられています。

——「カラスの習性と生態を知ろう カラスの一日に密着！」



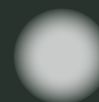
カラスの行動観察



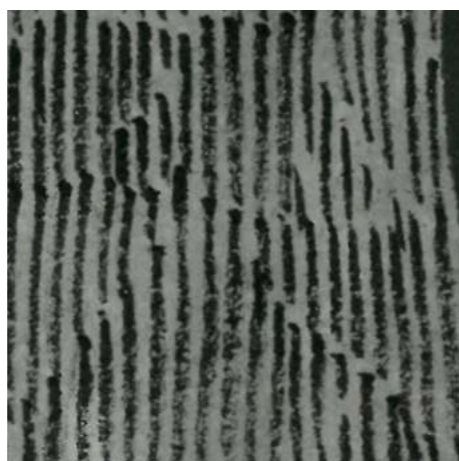
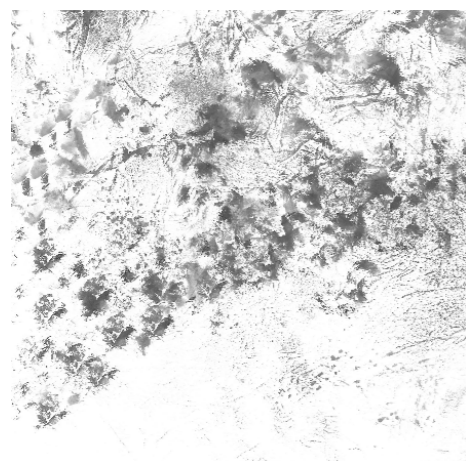
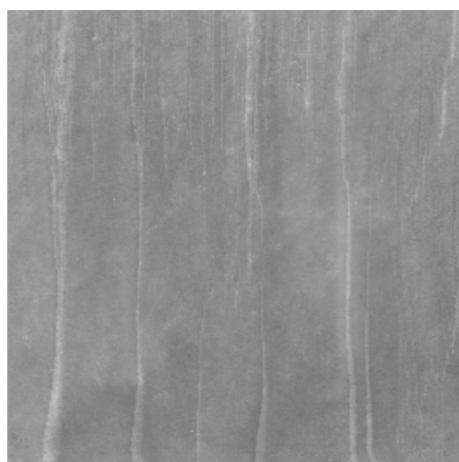
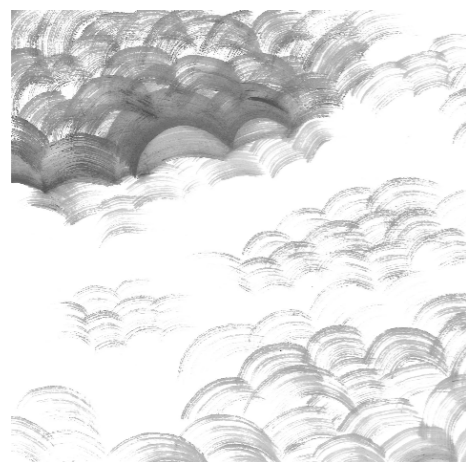
日本に来てから日本の鳥類と中国の鳥類の生活習慣に違いを見つけました。日本のカラスは体が大きくて、自由に生きているような印象を受けました。そこから、カラスを主役に自由を表現する考えが生まれました。



「横に見てください。」



水墨画材に関する研究

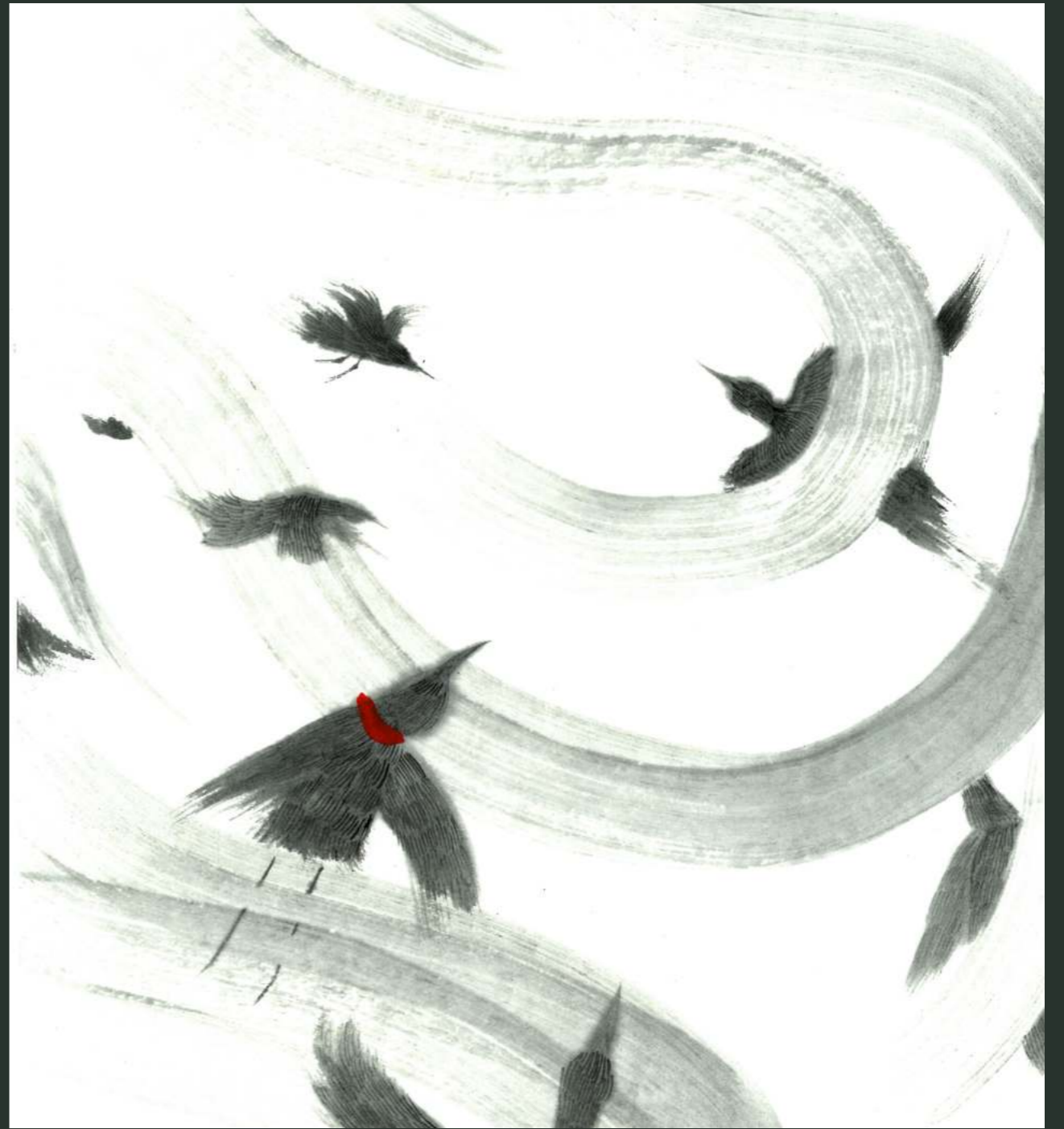


「鴉」では水墨を主な素材として、作品の中の自由に対する検討を表現している。黒と白はカラスの孤独と物事のしようがないことを表している。ある時、窓の外の桜の木が開花したのを見て、桜の花びらを使って絵を描くという考えが生まれた。

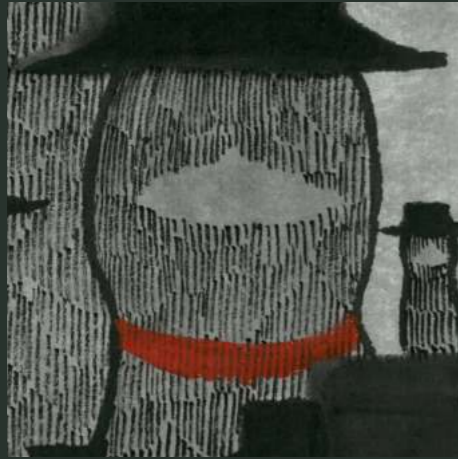
桜の花が瞬く間に過ぎ去っていく時期は、作品「鴉」の中の自由な一瞬とともに、画面の肌理や階層を豊かにしてくれる。自然画材を使って練習や絵を描き、後の作品の中から画面や意味を伝える画材を選んで試してみました。



「横に見てください。」



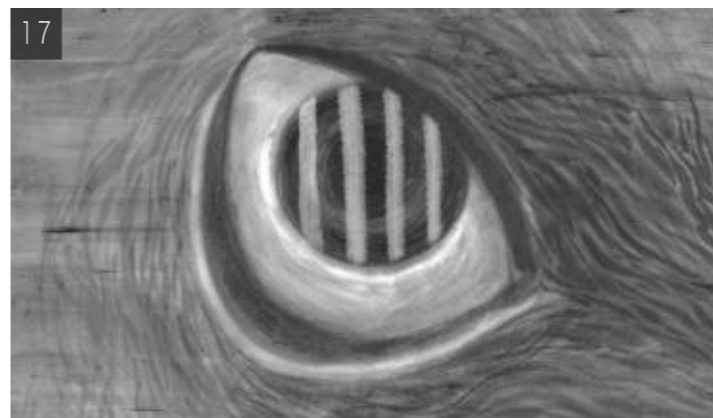
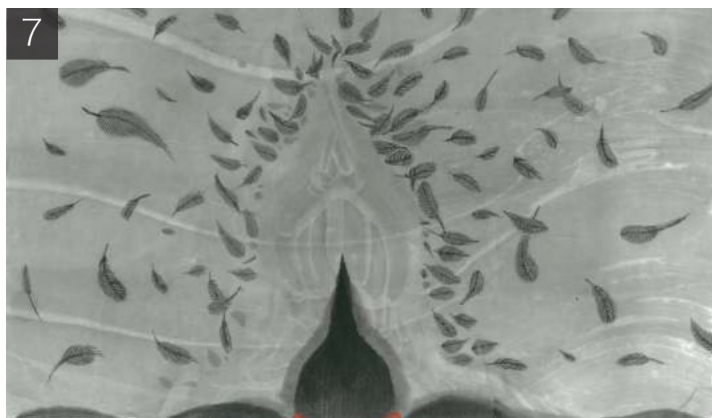
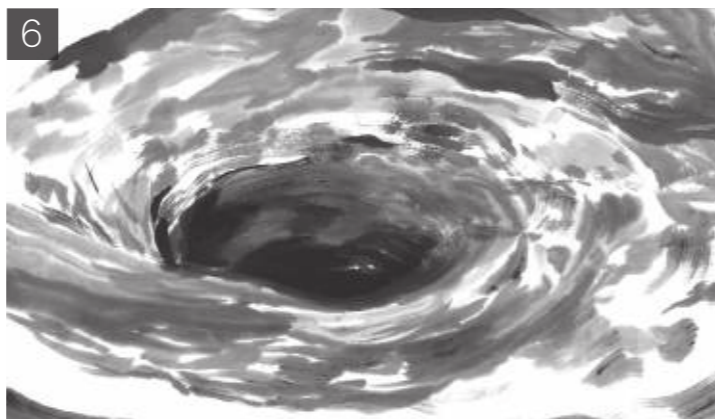
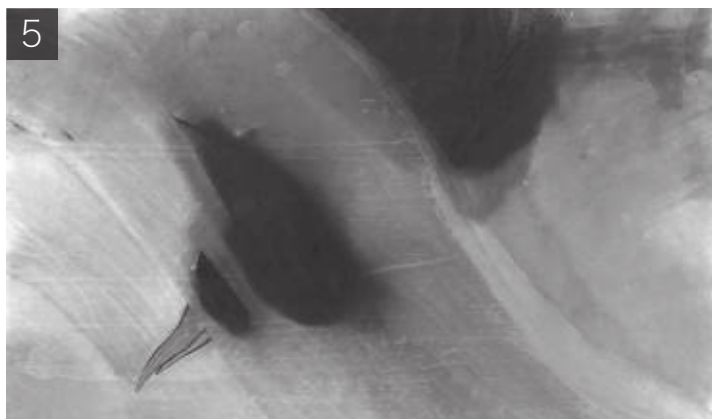
カラスの設定について



一部の画面にカラスが複数出ているので、赤いマフラーで他のカラスと区別しました。この赤いマフラーをしたカラスが束縛から逃れたことがないことを示唆しています。



「横に見てください。」



絵本のコンテ

伝えたい気持ち について

この物語はカラスが檻を破って空に飛んで、自由を探す物語です。

海から空まで、自由が得られるように見える場所でも、実際には様々な理由で縛られています。そして最後に繁華な大都市に飛んだ後、人類のルールに閉じ込められた。カラスは最初から最後まで自由を得たことがないかもしれませんが、作品を見る人に対し伝えたいのは、カラスの最初の勇気と自由への憧れの感情です。

「カラスの詩」

孤独の中に存在する微かな灰黒

灰黒の束縛、情欲の灰黒

鉄の柵を壊していくだけ

閉鎖された物を破るのは困難だ

だが彼は傍観者を気にせず

神田川に灰黒を投げる

お世辞の渦に投げ込み、ぼかす

叱る

叱る野生のカモ、怒濤、神田川にある幻滅した枝

落零れの半枚の銀色のような翼にも及ばず

シルトを振り払い、汚物を捨て、雲に向かって飛ぶ

パートナ一も目的もない

その傲慢さは場違いのようである

目の下には素晴らしい大都市が広がる

シルクハットに当たらないタキシード

急いでシルエット

大きなペンキとアスファルトの間に落ちる

シルクハットに隠れる

瞳孔に断続的な黒と白が焼きつける

孤独の中の微かな灰黒

灰黒の束縛、欲望の灰黒



「自由へ」

イラストレーション・絵本
カラス
2021/09/21



●
人間の壺
The Pot on Earth



総合材料 について



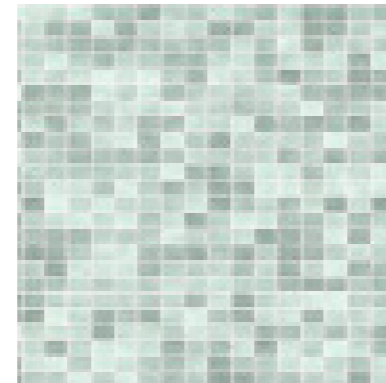
砂と枝



デニム



金箔



モザイク

総合材料を使うのは社会の異なる消費現象と異なる消費主義に対する理解をそれぞれ反映するためです。『自然の探究、流行の消費観に追随、内容を無視した消費、貴金属に対する追求など』これらは私がこの作品を通して表現したいものです。



作成プロセス について

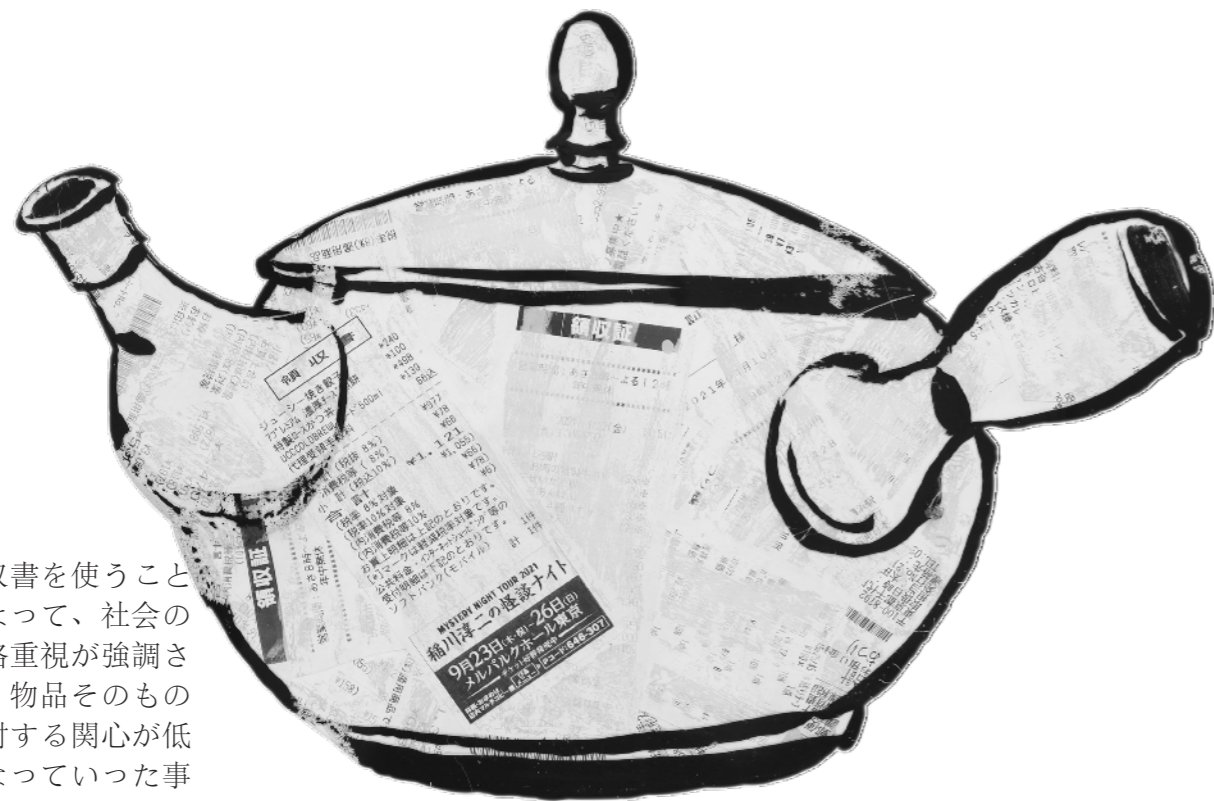
私はアクリル板を画板として使っています。上には筋理がなく、内容をより明確に表現することができます。



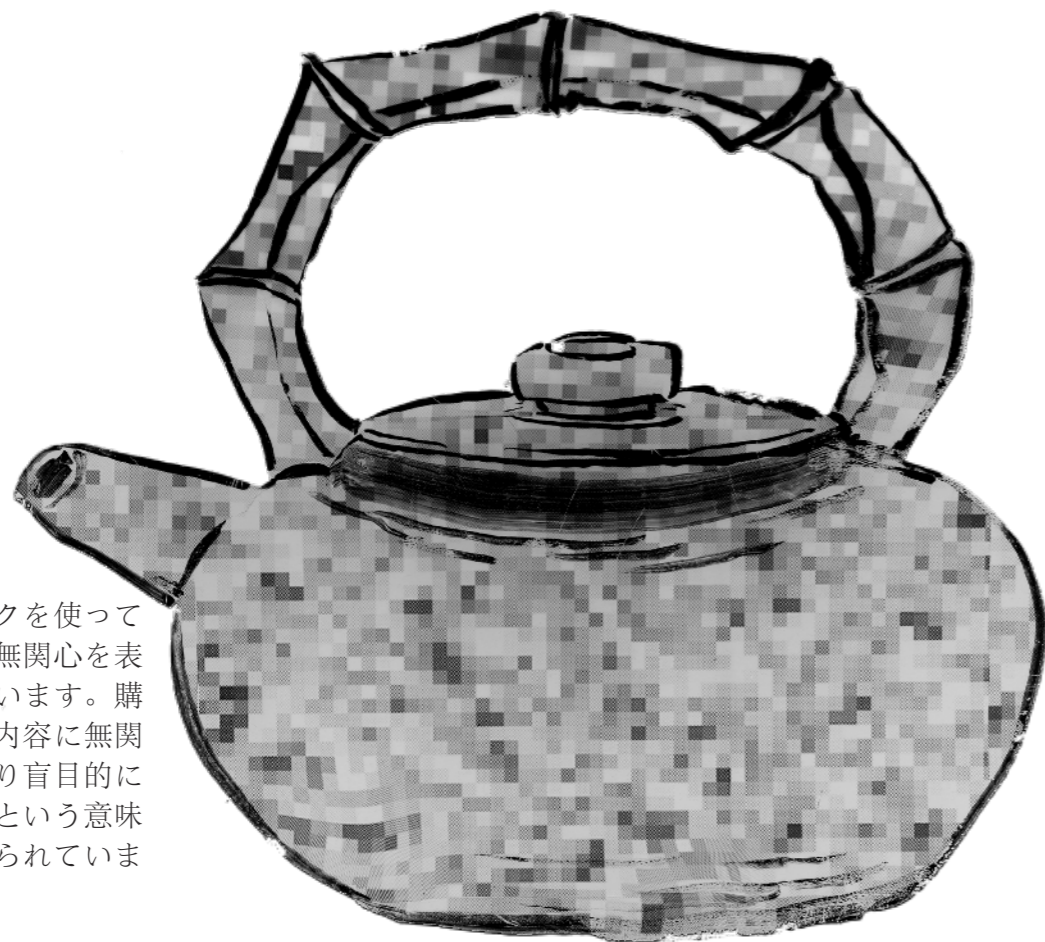
『人間の壺』 2021.10.6

「人間の壺」
The Pot on Earth

作品展示



領収書を使うこと
によって、社会の
価格重視が強調さ
れ、物品そのもの
に対する関心が低
くなっていった事
を表現しました。



モザイクを使って
内部の無関心を表
現しています。購
入者は内容に無関
心であり盲目的に
買う、という意味
が込められていま
す。



金銀製の急須は他の材質の壺と本質的な違いが
ありません。しかし、金銀の材質自体は急須に
対する判断を弱めます。



この絵の意味は人々が古いものに対して盲目的に追求することにあります。実際にはポットが水垢で満たされているが、人々は主観的に見てそれが価値があるものだと思います。

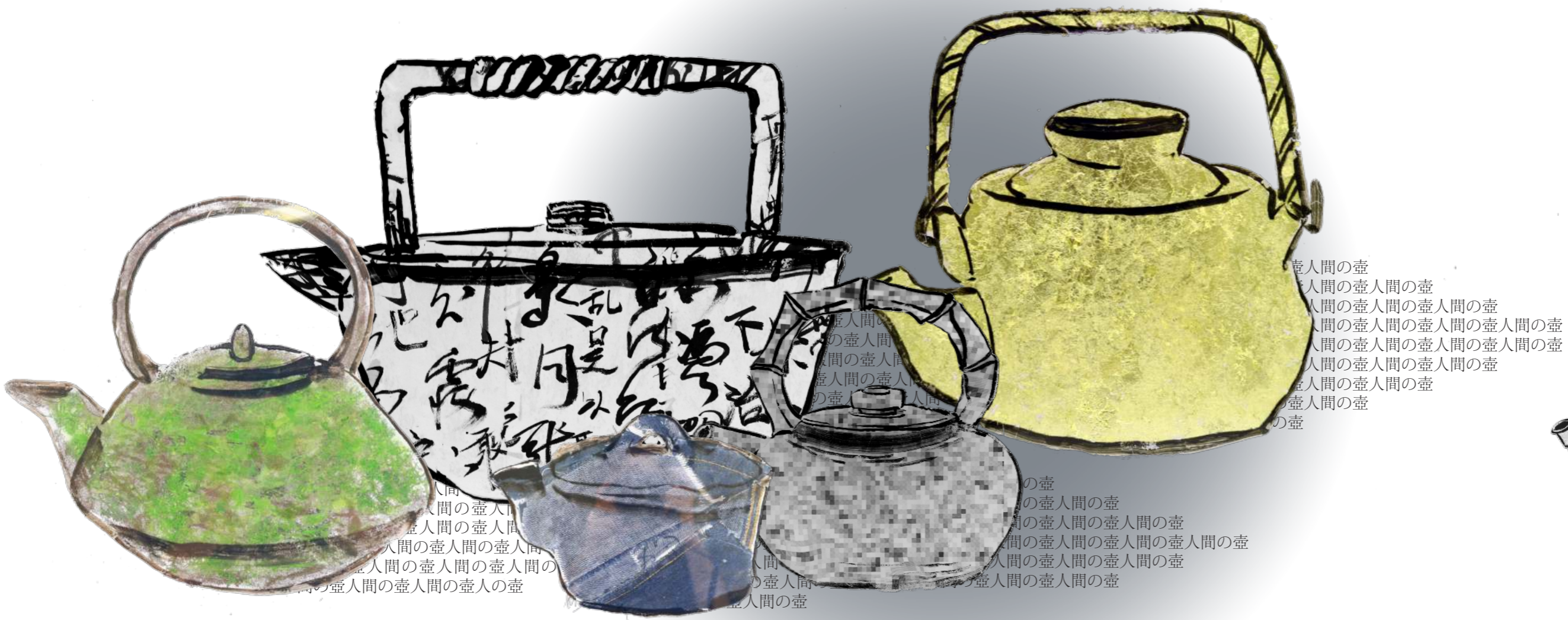


壺には書道や絵が彫られているのがよく見られます。外の書道や絵画に対する関心は壺を超えています。



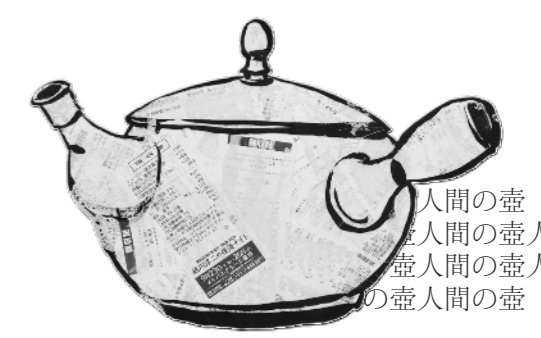
この絵にはデニムの素材を使っています。現代の若者の流行に対する盲目的な追求を体現します。

人間の壺



人間の壺
人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺
人間の壺
人間の壺

人間の壺
人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺



人間の壺
人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺人間の壺
人間の壺人間の壺

作品の展示



「人間の壺」は社会のさまざまな消費主義
に対する私の考えです。外見よりも、物事
の本質や用途にもっと注目してほしいです。



墨 痕
ink mark



イラストレーション 二〇二一年十一月

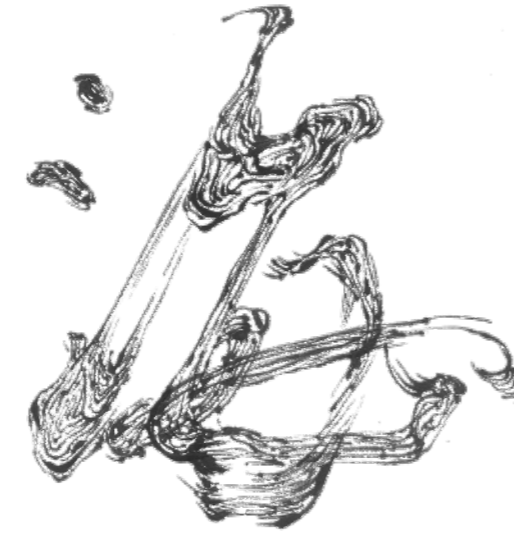
研究の背景



書道の練習をしているうちに、インクの拡散で水墨が通った跡が現れることに気づいた。ですから、水墨の方向と前後の関係を線で表現するという考えが生まれました。



「龍」



「蝶」

日本の書道では大胆な構成が使われているので、私も線で文字を並べ直してみました。



字の組み合わせ について



単一字の練習を試した後、いくつかの字の組み合わせをしました。ラインを利用して連絡を取りました。



「人生」



「山野雪山」



「風物詩」



「波」



「光」

作品の展示



「横に見てください。」



不羨仙

Not envious of immortals

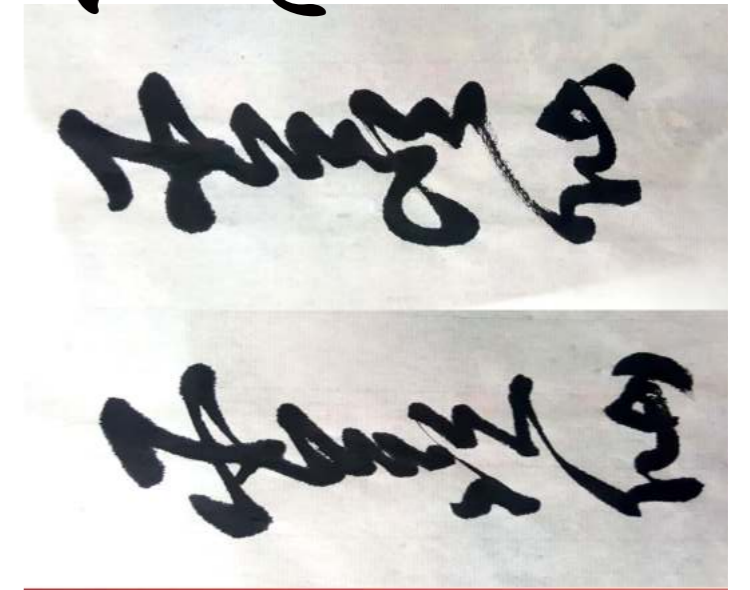


前期調査について



過去に中国の南京博物館で、長い絵巻物を媒介とする表現に触れました。それがきっかけとなり、長い絵巻物に興味を持ちました。数年前から神様というテーマに興味を持ちはじめました。ですから、長い絵巻物で神様を描くという考えが生まれました。

伝えたい気持ちについて



「横に見てください。」

「不羨仙」の系列作品は、天上の神様が人間の平凡な生活を見て羨望を抱く物語です。現代の大多数の人々は、毎日自分の生活に毎日自分の生活に不満が多いですが、神様をうらやましがると同時に、神様も私たちが羨んでいると思います。

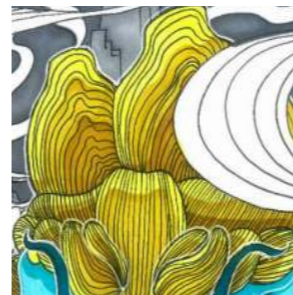
作品展示



国の神様の話に由来しています。昔、ある神は玉帝のデザートを食べ、人間界に追放されてしまいました。人間は各家庭の台所の小さな出来事を記録しました。神は人間が自由自在に食物を作りたいです。



竜王の雨に由来しています。竜王の権力は大きく常に多忙な為、休む暇がありません。それ故人間は暇な時間の時に休める事を羨みました。



中国の古代伝説に由来しています。その神に能力があっても自分や個人そのものを認めてくれないため、人間は才能を持っている人に対し、素直に認める所を羨ましく思うのです。



「八面」の社会関係の多様さに由来しています。人々の変化が起きやすい社会関係と仕事に対する多様性を羨ましく思うのです。





神話に登場する仙女に由来しています。彼女の服は美しいですが、服のスタイルは単調で、面白味がありません。仙女は多様なスタイルの華やかな服を着ている人間を羨ましく思うのです。



天上に存在する舞踊の種類はとても少ないため、人間界に溢れる多様な娯楽を羨ましく思うのです。

作品展示



易大群群@



「横に見てください。」



